

第3次読書のまち八王子推進計画 平成27年度別実績及び平成28年度実施計画

No.	計画内容		展開	所管部名	H27年度実績	H28年度実施計画
	具体的な取組み	取組み内容				
1	ブックスタート事業及び健診時における読み聞かせの実施	市が主導して、ブックスタートボランティア会員を募り、ブックスタート事業への参加を促す。ボランティアと図書館、保健福祉センターが連携し、心安らぐ子育て支援の一環として、3～4か月児、3歳児健診の場で、絵本を介した読書活動を実施する。	継続	図書館部	毎月2回、市内3か所の保健福祉センターにおける産婦3～4か月児健診において、年間延べ72回（受診者数3,765人）ブックスタート事業を実施し、親子の前で読み聞かせを実施し、絵本を介した読書活動の大切さを周知した。また、3歳児健診においても同様に年間72回4,767名の親子への読み聞かせを実施した。	市内3か所の保健福祉センターにおいて、産婦・3～4か月児健診におけるブックスタート、及び3歳児健診において読み聞かせを実施する。
				子ども家庭支援センター	子ども家庭支援センターにおいて募集している「子育て応援団Beeネット」ボランティアを、図書館が実施しているブックスタート事業に紹介し支援した。	子ども家庭支援センターにおいて募集している「子育て応援団Beeネット」ボランティアを、図書館が実施しているブックスタート事業に紹介し支援する。
				保健福祉センター	産婦・3～4か月児健診において、図書館部が実施するブックスタート事業を支援した。また、3歳児健診において、図書館部が実施する読み聞かせを支援した。	産婦・3～4か月児健診及び3歳児健診時の待ち時間を活用し、図書館部が実施するブックスタートおよび読み聞かせを支援する。
2	保育園、幼稚園等での読書活動の推進	子どもたちが多くの本と出合う最初の場所である保育園、幼稚園や、子育てひろば等での読み聞かせ活動により、読書習慣の形成に影響がある乳幼児期の読書活動の推進を図る。	継続	図書館部	子ども家庭部が実施する「子育て広場」25か所において、新たに貸出用に配備される育児書の選書に協力した。	①公立保育園、子育て広場、私立保育園及び私立幼稚園の読書活動について、聴き取り調査やアンケート調査などを実施する。 ②各施設での読書推進の取組み状況を、各施設に周知し、活用できる部分の取組みを働きかける。
				子ども家庭支援センター	Beeネットボランティアにより、「子育てひろば」を利用している子ども達に対して、読み聞かせを行い読書習慣の定着を図った。また、保育園や幼稚園などに設置されている「子育て広場」25か所に育児書308冊を貸出用に配備した。	Beeネットボランティアにより、「子育てひろば」を利用している子ども達に対して、読み聞かせを行い読書習慣の定着を図る。
				児童青少年課	日常的に子育てひろばにおいて絵本、紙芝居、大型絵本等の読み聞かせを行った。	継続して子育てひろばにおいて読み聞かせの活動を行う。
				保育幼稚園課	全ての公立保育園において、日々の保育の中で保育士による読み聞かせを実施した。またボランティアによる絵本の読み聞かせを定期的に実施した。	全ての公立保育園において、日々の保育の中で保育士による読み聞かせを実施し、ボランティアによる絵本の読み聞かせを定期的に実施する。

第3次読書のまち八王子推進計画 平成27年度別実績及び平成28年度実施計画

No.	計画内容		展開	所管部名	H27年度実績	H28年度実施計画
	具体的な取組み	取組み内容				
3	学童保育所、児童館や放課後子ども教室での、子どもの読書活動の推進	読書が習慣になるよう、小学校入学後も、学童保育所、児童館、放課後子ども教室での、子どもの読書活動の推進を継続的に実施していく。また、学童保育所や放課後子ども教室における学校図書館の利用や児童館の地域探検で、図書館利用を促す。	拡充	図書館部	関連所管が集まる会議において、各所管が自主的に読書活動を推進するよう要請した。	①児童館、学童保育所、放課後子ども教室での読書活動について聴き取り調査を実施すると共に、図書館から積極的な情報発信を行う。 ②図書館近隣の学童保育所や放課後子ども教室に対して、可能な範囲で図書館利用を働きかけていく。
				児童青少年課	児童館において、地域のボランティアによるおはなし会等による読み聞かせを3館で31回実施し、計771名の参加があった。また、地域探検の一環として、複合施設での活動時に空いた時間を利用し、図書館にて積極的に読書に取り組む時間をつくった。(川口児童館が川口図書館を利用)	継続して読み聞かせ活動場所の提供に努める。そして自主的に図書館を利用できる時間を設定する。
				生涯学習政策課	放課後子ども教室では、11校の小学校で図書室を放課後の児童の安全・安心な居場所としての役割のほか、児童に図書に触れる機会を提供した。	学校と調整しながら、図書室の利用を推進していく。
4	読書スペースや児童図書等の充実	家庭で役割を終えた絵本、児童書の寄贈を受けたり、図書館の団体貸出などを活用し、日常における子どもの活動場所にいつでも本があり、手に取りたくなるような環境づくりを進める。また、保育園や幼稚園では、保護者向けの育児書なども取りそろえる。	拡充	図書館部	図書館として児童書の購入を進め、蔵書数が43万4千冊(全蔵書の27%)となった。また、児童書の貸出し冊数が年間73万6千冊となり、前年度より約3万9千冊貸出しが増加した。	図書館として児童書の購入と貸出を進める。また、読書活動を行っている所管に対して、毎年、読書スペースの確保や蔵書の充実を依頼していく。
				子ども家庭支援センター	地域子ども家庭支援センターみなみ野で、絵本などの寄贈を受け活用した。	利用者等からの寄贈される絵本を施設で活用する。
				児童青少年課	各児童館図書室において、毎年本を購入し、日常的に図書の整理整頓、貸し出し等を行った。また、児童館の子育てひろばスペースにおいて育児書の充実に努めた。	継続して児童館図書室、育児書等の充実に努める。
				保育幼稚園課	各年齢ごとの保育室に図書コーナーを設け、子ども達が絵本に親しむ環境を提供した。また子育て広場事業において育児書や絵本を取りそろえ、貸し出しをしたり親子で楽しめるような環境を提供した。また、保護者等から絵本の寄贈を受入れ活用した。	年齢に応じた絵本や図鑑を取りそろえ、子ども達がいつでも楽しむことができる環境を提供する。

第3次読書のまち八王子推進計画 平成27年度別実績及び平成28年度実施計画

No.	計画内容		展開	所管部名	H27年度実績	H28年度実施計画
	具体的な取組み	取組み内容				
5	親子に対する、図書の貸出しや情報の提供	保護者の育児支援のために、身近な子ども関連施設で、年齢に応じた絵本や育児書の紹介や貸出などにより、親子が家庭で本に親しむことができる機会をつくる。また園庭開放等で保育園や幼稚園を訪れる在宅子育て家庭に対し、絵本や育児書の貸出しや読み聞かせ講座を開催する。	新規	図書館部	①ブックスタート時に、絵本・わらべ歌DVD、おすすめ本資料などを配布し、幼児へのお話の大切さを周知すると共に、子ども読書の日にちなんだ「としょかんこどもまつり」（各図書館）の開催情報を、市内全保育園・幼稚園に送付した。 ②保健福祉センターで、H28から実施する妊婦への「はちベビギフト」で配布する育児書を図書館から推薦した。 ③子ども家庭部で発行している子育てガイドブックに図書館各館でのお話会の開催情報を掲載した。 ④教育委員会や子ども家庭部のフェイスブックに図書館情報を随時に掲載した。	市内の子育て施設での読書活動推進状況調査を踏まえ、図書館情報や各施設の読書活動推進の情報を各施設に発信し、保護者の育児支援や、親子が家庭で絵本などを読む機会を増やす支援を進める。
				子ども家庭支援センター	子育て広場25か所に、図書館からの推薦書などを含めて、新たに308冊の育児書などを配備し、子育て広場についてフェイスブックや図書館広報誌などで周知し、ふれあい広場（クリエイト・館・石川・みなみ野・南大沢・元八王子）で図書の貸し出しを行った。	子育て広場に育児書などを配備し、活動をフェイスブックや図書館広報誌などで周知し、ふれあい広場やつどいの広場などで図書の貸し出しを行う。
				児童青少年課	子育てひろば専用の部屋がある児童館4館において、育児書の充実と整備を行った。	子育てひろば事業が児童館10館に拡大するため、他の6館についても育児書等の充実に努める。
				保育幼稚園課	全ての公立保育園において、保護者に絵本の貸し出しの趣旨を説明し、在園児を対象に週1回貸し出しを行った。またイベントのお知らせやポスターなど掲示をした。また、育児書を購入し、園庭開放などにおいて、在宅子育て家庭向けに貸出を実施した。	引き続き絵本の貸し出しを継続する。子育て事業スペースにはお勧めの本をディスプレイし参加の親子の目に留まるような工夫をし育児書等の貸し出しの推進を図る。
	地区図書室、地域文庫の蔵書充実や広報支援	地区図書室や地域文庫、地域子ども家庭支援センターへの希望図書の貸し出しなど、関連所管が連携して、児童図書等の蔵書を充実させるための支援を行い、身近な場所での子どもの読書活動の推進を図る。また、これら施設の活動を図書館ホームページで紹介するなど広報活動を支援する。	拡充	図書館部	各地区図書室、地域文庫と連携を密にして、各施設への団体貸出において希望図書を聞き取りし、効率的な図書の選定や蔵書の充実を支援した。また、図書館内で、地域文庫のチラシ配布を行うなど、地域文庫の活動PRを支援した	①引き続き、各地区図書室や地域文庫と連携を密にして蔵書の充実を支援する。 ②地区図書室の広報支援については、財団HPに掲載している地区図書データを図書館HPにリンクを張る。 ③地域文庫のPRについては、どのようなことができるか、地域文庫との協議を行う。

第3次読書のまち八王子推進計画 平成27年度別実績及び平成28年度実施計画

No.	計画内容		展開	所管部名	H27年度実績	H28年度実施計画
	具体的な取組み	取組み内容				
6				協働推進課 ふれあい財団	①各地区図書室の選書に基づき、中央図書館から児童図書等の新刊書の貸出を受けた。 ②中央図書館の団体貸出しにより、定期的に児童図書等の入れ替えを行った。	①各地区図書室の選書に基づき、中央図書館から児童図書等の新刊書の貸出を受ける（各地区図書室へ選書スケジュールの提示及び選書期間を年4回から3回へ変更し、1回あたりの選書期間を延長する）。 ②中央図書館の団体貸出しにより、定期的に児童図書等の入れ替えを行う。
				子ども家庭支援センター	地域子ども家庭支援センター元八王子、南大沢において、地域図書館と連携をし、各図書館で子育て広場のチラシを配布し、子育て広場での読み聞かせ等の広報活動を行った。	地域子ども家庭支援センターで地域図書館と連携し、子育て広場での読み聞かせ等の広報活動を行う。
7	子育てサークルや読み聞かせボランティアへの活動支援	ホームページ等で団体の紹介を行い、読み聞かせを希望する団体との橋渡しを行うなど、サークルやボランティアが活動しやすい環境を整備する。また、サークルやボランティア向け講座の開催や、相互の情報交換の場を設け、ボランティアの活動を支援する。	拡充	図書館部	①各図書館において、ボランティア団体によるおはなし会を開催するなど、活動する場を提供した。 ②八王子市図書館報「らいぶらりい」において図書館で活躍する市民力として、ボランティア団体を紹介した。 ③ブックスタートの読み聞かせに参加しているボランティアに対しての講座を2回開催した。 ④ファミリーサポートセンターに読み聞かせ実演の出前講座を実施した。 ⑤秋の図書館まつりにおいて、ボランティア団体がワークショップを開催し、読み聞かせ等のボランティア団体の活躍の場及び参加団体相互の情報交換の場を設け、活動を支援した。	①「らいぶらりい」において、ボランティア団体などを紹介し、活動情報提供を図る。 ②図書館まつりにおけるボランティア団体のワークショップを継続して実施していく。 ③ボランティア団体主催の読み聞かせのレベルアップ講演会等の開催を支援する。 ④ブックスタートの読み聞かせに参加しているボランティアに対して読み聞かせ等の講座を年2回開催する。 ⑤出前講座の情報をファミリーサポートセンター等に提供する。 ⑥図書館まつりにおいて、図書館ボランティア団体が実施予定の読み聞かせの講座等を支援する。
				子ども家庭支援センター	Beeネットボランティアに、子育て広場などを紹介し、読み聞かせの活動を支援した。	Beeネットボランティアに、子育て広場などを紹介し、読み聞かせの活動を支援する。
8	保育士や保護者への読み聞かせ講座等の実施	保育士や子育てひろば従事者等を対象とした研修プログラムの中に、読み聞かせ研修などを組み入れ、読書活動のレベルアップを図る。また、読み聞かせの手法を保護者にも伝え、家庭での読み聞かせにつなげる。	新規	図書館部	保健所等でのブックスタートや3歳児検診において、保護者に絵本の読み聞かせの大切さを周知するとともに、マタニティフェスタ・助産院に出前講座を実施した。	①出前講座等による読み聞かせ講習を充実させ、読書活動のレベルアップを図る。 ②保育幼稚園課などの年間講習スケジュールに読み聞かせ研修を組み込むことができるか検討する。 ③保護者向けのブックスタート事業や、出前講座等は継続実施する。

第3次読書のまち八王子推進計画 平成27年度別実績及び平成28年度実施計画

No.	計画内容		展開	所管部名	H27年度実績	H28年度実施計画
	具体的な取組み	取組み内容				
				保育幼稚園課	保育参加や参観時に読み聞かせの場面を設け、読み聞かせの手法を保護者に伝えた。また、保護者懇談会では、絵本の貸し出しのとりくみを伝え、家庭で親子と一緒に絵本に触れることや子どもへの読み聞かせの大切さを伝えた。	保育参加や参観時に読み聞かせの場面を設け、読み聞かせの手法を保護者に伝える。また、保護者懇談会で、絵本の貸し出しのとりくみを伝え、家庭で親子と一緒に絵本に触れることや子どもへの読み聞かせの大切さを伝えていく。
9	子ども読書週間での啓発活動	子ども読書週間には、図書館で実施している「としょかんこどもまつり」だけでなく、各関連所管においても読書活動に関する様々な事業を実施することで、市全体で読書に親しむ気運を盛り上げる。	拡充	図書館部	子ども読書週間にちなみ、4/18・19の二日間、図書館4館において「こどもとしょかんまつり」を開催し、おはなし会やとしょかんたんけんたい、工作会などを実施した。また、他所管との今後の連携について検討した。	平成29年度に、関連所管が連携し、子ども読書週間の冠をつけて、企画を実施するよう調整していく。
10	リーフレットの作成などによる情報周知	読み聞かせの意義、重要性を盛り込んだリーフレットや、おすすめ絵本等のリストなどを作成し、親子が読書に親しめる情報を、保育園や幼稚園など親子が利用する場所で配布する。また、母子手帳の配布の機会を利用し、図書館利用の促進に結び付けるための資料等を配布する。	拡充	図書館部	母子手帳交付時の配布資料などについて調査し、図書館側としてどのような場面でどのような配布資料が有効かを検討した	①保健福祉センターでの妊婦面談時に図書館利用の案内を配布し、妊娠時からの図書館利用を促進する。 ②ブックスタートにおいて、読み聞かせの意義、重要性を盛り込んだリーフレットや、おすすめ絵本等のリスト、絵本・わらべうたDVDの配布を継続して実施する。
11	ホームページによる読書活動やイベント情報の発信	市のホームページに「子ども読書活動」のページを作成し、市内の子ども読書活動情報、イベントなどの情報発信や啓発活動を実施する。	新規	図書館部	「ホームページ等情報発信改善検討会」において、次期図書館システムへの移行期間中の代替手段として、市ホームページの図書館部のページに目次としての機能を割り振り、市民への情報アクセス向上を図った。	H27年度に実施した読書感想文・感想画コンクール入賞作品を掲載するとともに、各種イベント等の様子を積極的に公開し、市民への情報提供を図る。
12	学校図書館サポート事業の拡充	学校図書館サポートセンターの体制および機能の充実を図り、学校司書の全校への派遣を進めるとともに、研修体制や学校への支援体制を強化する。また、図書館システムのデータベースの活用を図り、学校図書館に係ることの調査・研究を行う。	拡充	図書館部	①学校図書館及び学校図書館サポート事業の支援として、教育センター内に図書館システム端末を1台配置した。 ②学校図書館サポートセンターと毎月連絡会を開催し、情報交換を行い連携を密にすると共に、学校司書等への研修を行った。	①学校司書等への研修支援を継続実施する。 ②学校司書と図書館との連携を密にする。 ③図書館として、調べ学習や学級文庫用の資料を充実させる。
				指導課	①学校図書館サポーター（読書推進担当）の名称を学校司書に改め、学校司書を9名増員し、20名を80校に派遣した。 ②司書教諭研修会2回、ボランティア研修会3回を開催し、研修体制を強化した。 ③図書館システムのデータベースの活用を図り、学校図書館に係ることの調査・研究を行った。	①学校司書の全市立小・中学校への派遣を進め、支援体制を強化していくとともに、学校図書館の活用を推進するため、研修を実施していく。 ②図書館システムのデータベースの活用を図り、学校図書館に係ることの調査・研究を行う。

第3次読書のまち八王子推進計画 平成27年度別実績及び平成28年度実施計画

No.	計画内容		展開	所管部名	H27年度実績	H28年度実施計画
	具体的な取組み	取組み内容				
13	学校図書館の授業への計画的活用	「学校図書館活用全体計画」「学校図書館活用年間指導計画」に基づき、全教員が共通の理解をもって授業の中で学校図書館を計画的に活用できるようにするとともに、具体的な活用方法が分かるよう「学校図書館活用マニュアル」を作成し、児童・生徒の主体的な調べ学習や読書活動の充実を図る。	拡充	指導課	①「学校図書館活用全体計画」「学校図書館活用年間指導計画」に基づき、全教員が共通の理解をもって授業の中で学校図書館を計画的に活用できるようにした。 ②学校図書館の具体的な活用方法が分かるよう「学校図書館活用マニュアル」を作成した。	①「学校図書館活用全体計画」「学校図書館活用年間指導計画」の作成を教育課程に位置づけ、全教員が共通の理解をもって授業の中で学校図書館を計画的に活用できるようにする。 ②学校図書館の具体的な活用方法が分かる「学校図書館活用マニュアル」を配布し、児童・生徒の主体的な調べ学習や読書活動の充実を図っていく。 ③小学校4～6年生対象の調べ学習講座を、夏休み期間中市内4か所で開催し、図書館を活用した調べ学習を通して、子どもが課題解決への意欲と能力を高め、主体的な学び方を身に付けさせる。
14	児童・生徒の活発な読書活動の推進	学級における朝読書の推進、小学校での高学年による低学年への読み聞かせ、図書委員会活動の充実など、学校における読書環境整備を進め、児童・生徒自身による読書活動を推進していく。	拡充	指導課	①図書委員が推薦する本を紹介する際に、本の選定について適切な助言や学級でのブックトークを行い本に親しめる環境を整備した。 ②図書室の展示やレイアウトを工夫したり、図書館だよりでおすすめの本を紹介したりし、児童・生徒が本を選びやすいように努めた。	学級における朝読書の推進、読み聞かせ、図書委員会活動の充実など、児童・生徒自身による読書活動の推進を図る。
15	学校図書館の蔵書の充実	学校図書館を児童・生徒の主体的な学習活動を支援する「学習・情報センター」として機能させるため、各学校で計画的に蔵書整備を行う。	拡充	図書館部	学校図書館の蔵書充実のために、学校司書への図書資料等の情報提供や支援を行った。	引き続き、学校司書への研修や情報提供を行い、蔵書の充実のための支援を行う。
				指導課	学校図書館を児童・生徒の主体的な学習活動を支援する「学習・情報センター」として機能させるため、学校内組織の体制を整えとともに、計画的な蔵書整備を推進した。	学校図書館を児童・生徒の主体的な学習活動を支援する「学習・情報センター」として機能させるため、学校内組織に学校司書が加わり計画的な蔵書整備を行う。
				施設管理課	学校配当予算の学校図書館資料購入費により、各校で図書を購入配備した。 図書購入費 小学校 23,356,313円 (前年支出済額比 -445,712円) 中学校 12,255,383円 (前年支出済額比 +302,211円) *学校の購入実績による	蔵書整備(購入)計画については、各学校長の裁量によるため、各学校長の予算要望に基づき予算配当している。 H28 図書購入費当初予算(学校合計) 小学校 24,456,000円 (前年予算比 +11,000円) 中学校 12,379,000円 (前年予算比 -303,000円)

第3次読書のまち八王子推進計画 平成27年度別実績及び平成28年度実施計画

No.	計画内容		展開	所管部名	H27年度実績	H28年度実施計画
	具体的な取組み	取組み内容				
16	特別な支援が必要な児童・生徒への読書活動の推進	特別な支援を必要とする児童・生徒への理解を深め、障害の状態に応じた選書やICTの活用環境の工夫を図るなど、公共図書館と連携して読書活動支援の推進を図る。	継続	教育支援課	第三次特別支援教育推進計画（H28～30）を策定し、障害のある児童・生徒の読書活動についても理解が進むよう取り組んだ。	第三次特別支援教育推進計画に取り組む中で、iPadや拡大読書器などのICTの活用などにより障害のある児童・生徒の読書活動についても推進を図る。 自閉症スペクトラムや学習障害（読み書きに困難性があるもの）への対応として、特別支援教室を導入する小学校に、順次iPadを配備する。また、重い視覚障害のある児童については、拡大読書器などを障害の状況に応じて導入する。
17	研修の充実	司書教諭研修会、学校司書研修会、教職員の資質・能力の向上を目的とするパワーアップ研修会を計画的に実施し、学校図書館の活用や環境整備、積極的な公立図書館との連携について理解、啓発を図り、学習活動や読書活動の充実につなげる。	拡充	図書館部	学校図書館サポートセンター主催の学校司書への研修やパワーアップ研修の中で図書館として講義を行い、学習活動や読書活動を支援した。	連絡会で情報交換を行うとともに、教員等への研修について、学校図書館サポートセンターと連携を図り支援を行う。
				指導課	学校図書館の活用や環境整備、積極的な市立図書館との連携について理解、啓発を図り、学習活動や読書活動の充実につなげるため、司書教諭研修会2回、学校司書研修会、教職員の資質・能力の向上を目的とする指導力パワーアップ研修会1回を開催した。	
18	学校図書館ボランティアの充実と活動支援	学校内で活動している学校図書館ボランティアに対する研修を充実させ、読み聞かせの技術の向上や図書整備、実技講習の充実を図り、学校図書館ボランティアの活動を支援する。また、相談の受け付けなど、サポート体制を強化する。	拡充	図書館部	毎月、学校図書館サポートセンターと連絡会を行い、情報交換を行った。また、学校図書館サポートセンター主催の学校図書館ボランティアの研修において、現場のニーズに合った実務的な講義を実施することにより、レベルアップを図った。	①引き続き、連絡会で情報交換を行うとともに、学校図書館サポートセンターと連携を図り支援を行う。 ②学校図書館サポートセンター主催の研修で、読み聞かせ等の講義を行い、学校図書館ボランティアの活動を支援する。
				指導課	①読み聞かせの技術の向上や図書整備、実技講習の充実を図り、学校図書館ボランティアの活動を支援するため、ボランティアに対する研修会を3回実施した。 ②学校図書館ボランティアからの相談を受け付けるなど、サポート体制を強化した。	

第3次読書のまち八王子推進計画 平成27年度別実績及び平成28年度実施計画

No.	計画内容		展開	所管部名	H27年度実績	H28年度実施計画
	具体的な取組み	取組み内容				
19	地域の連携による学校図書館の活用	地域、PTA、ボランティア団体等の協力を得て、児童・生徒が本に親しむきっかけづくりや読書習慣を身に付けることを目的として、地域の子どもや保護者、学童保育所や放課後子ども教室が学校図書館を利用できる機会を作る。	新規	図書館部	小中学校校長会において、第三次読書のまち八王子推進計画書を配布・説明を実施し、学校図書館の活用について要請した。	学校図書館の活用として、施設等体制が整ったところから、地域の子どもや保護者、学童保育・放課後子ども教室に対して、学校図書館が利用できるように、児童青少年課や生涯学習政策課などと連携し、小中学校校長会などに働きかける。
				児童青少年課	一部の学童保育所において、学校への働きかけにより、学校図書館の利用を促進し、読書活動を推進した。	学童保育所において、学校図書館の利用拡大に努め、読書活動の推進を図る。
				生涯学習政策課	放課後子ども教室では、保護者や地域の協力を得て、9校で読み聞かせを実施した。	保護者や地域の協力を得て、読み聞かせなどを継続し、本に親しむ環境を作っていく。
20	教員への情報発信と啓発活動	小中学校における読書活動の取組み事例・指導事例を集約してデータベース化し、発信・共有化を推進する。また、図書館ホームページにおける学校支援ページ(学校用学習資料の提供、調べ学習援助等)の充実を図る。	拡充	図書館部	学校司書へ、図書館の学校資料の利用方法の説明を行うとともに、学校図書館に利用案内を配布し、教員への図書館利用等への情報発信をした。	①図書館ホームページでの学校用学習資料の提供や調べ学習援助等データの充実を図る。 ②学校図書館と学校司書に、図書館の学校資料の利用方法の案内を配布するなど、教員への図書館利用等への情報発信をすすめる。
				指導課	①学校図書館ボランティアや学校司書の特色ある取り組みを調査し、その事例を広報紙「としょえもん」やホームページに掲載するなど、各学校図書館での活動を参考にできるように情報提供の充実を図った。 ②学校図書館の有効活用や学校図書を活用した調べ学習の実践などの研修を実施し、司書教諭や教員の資質向上に努めた。	小中学校における読書活動の取組み事例・指導事例を集約して、発信・共有化を推進していく。
21	児童・生徒、保護者への情報発信と啓発活動	公共図書館や学校司書からのおすすめ本リストをホームページに公開したり、学校だより等を通じての成長期における読書の意義の啓発等を行う。(夏休みの調べ学習案内の見直しと配布)	拡充	図書館部	①夏休みに向け、小中学生向けのおすすめ本を図書館職員により選定し、おすすめ本リストを各図書館に配備し、市内全小中学校に配布すると共に、図書館ホームページに掲載した。 ②図書館報「らいぶらりい」(年4回)を小中学校などに配布し、図書館ホームページにも掲載し、図書館からの情報発信に努めた。 ③図書館に調べものに役立つ資料があることを小学生にもわかりやすいように漫画で描いたリーフレット「図書館で調べ物をしてみよう！」を図書館内で夏休み前から配布した。	①小中学生向けの夏のおすすめ本リストについて、教育センターと図書館で別々に作成しているが、有効な活用が図れるよう調整してゆく。 ②図書館ホームページにおすすめ本のリストを掲載する。 ③保育園や幼稚園など子育て所管へ、図書館報「らいぶらりい」などを配布し、読書情報の周知を図る。 ④リーフレット「図書館で調べものをしてみよう！」の内容を現状に合わせて更新し、昨年度同様図書館内で配布する共に、市内の小中学校にも図書館に調べものに役立つ本があることを知ってもらうために、配布することを検討する。

第3次読書のまち八王子推進計画 平成27年度別実績及び平成28年度実施計画

No.	計画内容		展開	所管部名	H27年度実績	H28年度実施計画
	具体的な取組み	取組み内容				
				指導課	広報紙「としょえもん」(年3回)の発行による学校図書館情報の発信や、市立図書館や学校司書からのおすすめ本リストをホームページに公開し、児童・生徒の読書活動を推進した。	①広報紙「としょえもん」の発行、市立図書館や学校司書からのおすすめ本リストをホームページに公開していく。 ②学校図書館だより等を通じて、児童・生徒の読書活動の啓発・推進を行っていく。
22	年代に応じた児童図書 の充実と探しやすい コーナーの整備	子どもの年齢や発達段階に応じた本をそろえ、親子が利用しやすい空間づくりや、児童が本を探しやすいコーナーづくりに努める。中学生や高校生の読書傾向の把握にも努め、中学生・高校生向けの蔵書とコーナーの整備を図る。	拡充	図書館部	児童書や年代に応じた図書の購入を図ると共に、各館の状況に応じて、児童コーナーなどで探しやすい本の配置を行った。こども図書館まつりや、中学生職場体験などにおいて、児童生徒が読みたいおすすめ本を参加者に書いてもらい、館内に掲示した。	児童書や年代に応じた図書の購入を図ると共に、各館の状況に応じて児童コーナーなどで探しやすい本の配置を行う。こども図書館まつりや、中学生職場体験などにおいて、児童生徒が読みたいおすすめ本を参加者に書いてもらい、館内に掲示していく。
23	子どもの図書館体験活動への参加の拡充	一日図書館員や職場体験、ボランティアなど、子どもが図書館を実体験する中で、図書館への理解と利用促進を図る。	拡充	図書館部	夏休み期間に、図書館4館において、一日図書館員(12回99名)、中学生ボランティア(7回22名)、図書館探検隊(2回38名)、手づくり絵本の作成(4回117名)などの企画を実施した。また、年間を通じて、図書館4館で中学生の職場体験(36校102名)を受け入れ、図書館での体験活動を実施した。	①夏の中学生ボランティアの内容を見直し、中学生が参加しやすい企画を検討する。 ②図書館探検隊、一日図書館員、職場体験、ボランティアの受け入れを継続して実施する。
24	おはなし会等親子が参加できる事業の実施	おはなし会や工夫あるイベントにより、これまで読書に興味を持てない子どもやその保護者に対し図書館に興味を持てるように働きかけを行う。親子が一緒に楽しむ中で、図書館や本に親しむ機会を作る。	拡充	図書館部	幼児や児童などが図書館に興味を持っているような企画を各図書館で実施した。 ①おはなし会 中央館(32回293名) 生涯館(14回332名) 南大沢館(35回548名) 川口館(15回651名) ②としょかんこどもまつり(4月18・19日 全館 260名) おはなし会、わらべうた、図書館、たんけんたい、切り紙、児童書リサイクル、おすすめ本のポップ作成会、工作会など ③なつやすみ工作会(おはなし会)1回33名 ④手づくり絵本(作成会)4回117名 ⑤クリスマス会(工作会含む) 4回139名	①定期的なおはなし会や季節ごとのイベントを継続的に実施するとともに、HP等により効果的に保護者への周知を図る。 ②子どもや保護者が興味を持ち、参加できる企画について検討していく。

第3次読書のまち八王子推進計画 平成27年度別実績及び平成28年度実施計画

No.	計画内容		展開	所管部名	H27年度実績	H28年度実施計画
	具体的な取組み	取組み内容				
25	体験型イベントの実施	読書感想の発表や意見交換ができるようなイベントを開催することにより、子どもが自分の読書活動の中で得たものを実感し、他者と共有していくことができるような、子ども自身が参加、体験できる企画事業を実施する。	拡充	図書館部	読書感想画・感想文コンクールを開催し読書を通じて子どもが表現できるような事業を開催した。 H27年度応募数（読書感想画1,215点 読書感想文4,183点） としょかんたんけんたい（2回38名） 一日図書館員（12回99名） 中学生ボランティア（2回22名） 中学生の職場体験時に「おすすめの本」の紹介やポップ作成を実施。	28年度も読書感想画・感想文コンクールを実施し子どもたちからの作品を募り表彰をする。また中学生の部の上位入賞者を海外友好都市台湾・高雄市へ国際ジュニアフレンドとして派遣する。 また、その他のイベントも引き続き実施を継続していくが、より効果的な事業がないか議論し検討していく。
26	図書館利用に特別な支援が必要な子ども等への読書活動支援	発達段階、障害に応じた資料の整備を行い、来館時における図書館利用や調べ学習の援助を実施する。また、手話おはなし会などの事業も継続的に実施する。日本語を第一言語としない子どものための資料の整備と支援を実施する。	継続	図書館部	①聴覚障害の児童向けに手話おはなし会を2回開催した。 ②ボランティア団体の協力により、資料の点字化やデージー化を進めた。（音訳178点、点訳238点） ③中央図書館で、障害児の施設見学1名と職場体験2名、川口図書館で中学生ボランティアとして障害児を1名を受け入れた。 ④読書感想文・感想画コンクールについて、市内小中学校を通じて障害児へも参加を呼び掛けた。	①発達段階、障害に応じた資料の整備を行い、来館時における図書館利用や調べ学習の援助を実施する。また、手話おはなし会などの事業も継続的に実施する。 ②日本語を第一言語としない子どものための資料の整備と支援を実施する。 ③読書感想文・感想画コンクールについて、市内小中学校の障害児への参加を呼び掛けるとともに、新たに都立特別支援学校への参加を呼び掛ける。
27	児童サービス担当職員等のレベルアップ	職員の研修への参加や担当職員間の情報交換、文庫活動等との交流により、最新の子どもの読書活動の情報や、子どもたちのニーズの把握に努めるとともに、読み聞かせ等の技術向上を図り、職員としてのレベルアップを図る。	継続	図書館部	①都立図書館主催の研修や図書館大会などでの講演会、また図書館総合展などに職員・嘱託員を派遣し、児童担当職員のレベルアップを図った。 ・都立図書館主催児童図書館専門研修（5名）、東京都多摩地域公立図書館大会（基調講演・分科会）（37名）、図書館総合展（6名）ほか ②図書館でお話会を開催している「八王子おはなしの会」とおはなし会の都度意見交換を行い、レベルアップを図った。	職員の研修への参加や担当職員間の情報交換、文庫活動等との交流により、最新の子どもの読書活動の情報や、子どもたちのニーズの把握に努めるとともに、読み聞かせ等の技術向上を図り、職員としてのレベルアップを図る。

第3次読書のまち八王子推進計画 平成27年度別実績及び平成28年度実施計画

No.	計画内容		展開	所管部名	H27年度実績	H28年度実施計画
	具体的な取組み	取組み内容				
28	ボランティアの育成と活動支援	研修、講座などを通して読み聞かせボランティア等の育成を図る。また、相互に情報交換を図り、学びの成果を活かし、ボランティアがおはなし会等や事業に積極的に関わってもらえるよう活動支援を行う。	継続	図書館部	①中央図書館で実施した図書館まつりにおいて、市民やボランティア団体向けの「高学年の読書活動を支援するいろいろ」講演会（文庫連主催）を共催した。 ②ボランティア団体8団体の紹介ブースを設置し、ボランティア活動の市民への周知を支援した。 ③ブックスタートボランティア対象に2回学習会を実施し30名のボランティアが参加した。（赤ちゃんへの接し方・わらべ唄の効能など）	研修、講座などを通して読み聞かせボランティア等の育成を図る。また、相互に情報交換を図り、学びの成果を活かし、ボランティアがおはなし会等や事業に積極的に関わってもらえるよう活動支援を行う。また、図書館として新たに新たに図書館ボランティアを募集する。
29	市民団体等との連携・支援	子どもの読書活動に関わるサークルや団体が、活発に地域で活動できるよう協力体制の整備や、情報交換の場の提供など、支援を行う。	継続	図書館部	各種ボランティア団体との情報交換（図書館まつり実行委員会など）や、ボランティア団体との共催イベント（図書館まつりなど）を開催し、活動の場の支援を行った。 また、由木地区の赤ちゃんサークルに出向いて、保護者や幼児へ絵本の読み聞かせや手遊びを実演した。	引き続き、情報交換や各種イベントへ参加してもらい協力体制の整備や支援を行う。
30	学校支援サービスの充実	教科指導のテーマに沿った図書資料を収集し提供する。子どもレファレンスシート作成や、子どもたちへの調べ学習支援を行うとともに、教員研修の受け入れや、図書館利用方法の講座、ブックトークなどを実施する。	拡充	図書館部	①毎月、学校図書館サポートセンターと連絡会を行い、情報交換を行った。 ②学校図書館サポートセンター主催の調べ学習講座で、図書館利用の案内を行った。 ③市内中学校でブックトークを実施（七中1年生176名 別所中1年生115名）。 ④学校配送便の貸し出し資料の充実と本のセット化による大幅な貸出増加ができた。（貸出冊数：29,513冊前年度比21%増）	①引き続き、連絡会で情報交換を行うとともに、調べ学習講座等について、学校図書館サポートセンターと連携を図り支援を行っていく。 ②各種講座の参加やブックトークを行う。 ③学校配送便の体制を強化し（嘱託員1名増員し2名体制）、調べ学習用資料等の充実を図る。 ④学校図書館サポートセンターが実施する、小学生対象の「調べ学習体験講座」を支援する。
				指導課	①学校支援の充実を図るため、市立図書館と定期的に連絡会を実施した。 ②子どもレファレンスシート作成や、ブックトークを行うなど、子どもたちへの調べ学習支援を行うとともに、教員研修を中央図書館で実施した。	
31	イベントやコンクール等開催による読書活動の啓発	子ども読書の日や図書館まつりでの取組み、コンクール等の実施を通して、読書への関心や理解を深める。	継続	図書館部	春の「としょかんこどもまつり」や秋の「図書館まつり」、夏休み中の小中学生向けイベント、また「読書感想画・感想文コンクール」などを開催し、児童生徒の読書への関心を深める活動を行った。	子ども読書の日や図書館まつりでの取組み、コンクール等の実施を通して、読書への関心や理解を深める。

第3次読書のまち八王子推進計画 平成27年度別実績及び平成28年度実施計画

No.	計画内容		展開	所管部名	H27年度実績	H28年度実施計画
	具体的な取組み	取組み内容				
32	図書館ホームページ、子どものページの充実	図書館ホームページ内の子どものページを中心に、イベント情報やおすすめ本リストの掲載など充実を図る。また、中高生の図書館利用促進のため、十代の若者向け情報のページを新設をする。	拡充	図書館部	図書館ホームページの子どものコーナーにキッズページを掲載し、お話会やイベントの情報を掲載した。また、小中学生に向け夏のおすすめ本リストを作成しホームページに掲載した。	引き続き図書館ホームページに子どものイベント情報やおすすめ本のリストを掲載し周知に努めていく。また新システムのなかで子どものページの充実に向けて検討を進めていく。
33	図書リストや啓発リーフレットの作成・配布	調べ学習に役立つ図書やおすすめ本リストや啓発リーフレットを作成し配布。読書離れや図書館利用が少ない中高生向けにもおすすめ本リストも作成し配布する。	拡充	図書館部	①2015「南大沢図書館員が選んだイチオシBON」(小説・ファンタジー編、生きる・知る・楽しむ編)を発行。 ②小中学生対象の「夏のおすすめ」のリストを作成配布。 ③中央図書館調べ学習室で所蔵しているおすすめの本を掲載したリーフレット「調べ学習室 調べものに役立つ本」を中央図書館内で配布した。	①小中学生向けのおすすめ本リストを作成し、中学生からのおすすめの本の冊子化を各館と調整を行う。 ②リーフレットを確認し、新しく受け入れた資料を載せるなど更新を検討する。
34	図書館利用者登録の増進	図書館の利用促進を図るため、新たに市内全小学生の一定学年で利用者カードを配布する。また、中高生向けに利用者カード更新制度についての周知を行うなどし、継続的な図書館利用を促す。	新規	図書館部	未実施	市内全小学生の一定学年への利用者カードの配布については、平成31年度の学校図書館システムの導入に伴うカード利用機会の増大を見据えて、段階的、計画的に、具体的な実施方法に向け検討を行う。特に実施にあたっては、学校側の理解及び協力を得るための丁寧な説明と段階に応じた効果性の検証が必要である。
35	地区図書室からの情報発信	地区図書室の活動状況を、広く市民に知ってもらうため、新たに各地区図書室の利用方法やイベント等の情報発信をふれあい財団等のホームページ等で周知する。	新規	図書館部	未実地	地区図書室の活動状況を、広く市民に知ってもらうため、ふれあい財団等のホームページで新たに各地区図書室の利用方法やイベント等の情報発信がされたことから、このデータについて図書館ホームページにリンクを張る。
				協働推進課 ふれあい財団	学園都市文化ふれあい財団のホームページに各地区図書室の開室日時を掲載した。	学園都市文化ふれあい財団のホームページに地区図書室の利用方法を掲載していく。また、各地区図書室で行われる読み聞かせ等のイベント情報をあわせて掲載する。
36	地区図書室の利便性向上	地域にあった蔵書の充実、本の検索や貸出サービスの向上を図ると共に地区図書室の情報共有と交流を行いながら地域にあったサービス提供を実施する。特に開室日時の拡充など積極的にサービスの充実に取組む地区図書室に対しては、蔵書をパソコンで管理するシステムの導入や物流体制の強化を行う。	新規 継続 拡充	図書館部	①各地区図書室からの要望を踏まえた希望図書を、年間2,750冊配布。 ②9月に、地区図書室にリサイクル本を配布。 ③地区図書室のエクセルによる蔵書管理について、アドバイス等を行った。 ④週2回、中央館と各地区図書室を結ぶ交換便を実施。	①希望図書については、年間3,000冊配布予定。 ②9月にはリサイクル本配布予定。 ③エクセルによる蔵書管理を継続して実施。 ④週2回の地区図書室への交換便を実施。

第3次読書のまち八王子推進計画 平成27年度別実績及び平成28年度実施計画

No.	計画内容		展開	所管部名	H27年度実績	H28年度実施計画
	具体的な取組み	取組み内容				
36				協働推進課 ふれあい財団	①各地区図書室の選書に基づき、中央図書館から新刊書の配本を受けた。 ②中央図書館の団体貸出しにより、定期的に図書の入替えを行った。 ③中央図書館からのリサイクル本により地区図書室の蔵書を充実させた。	①各地区図書室の選書に基づき、中央図書館から新刊書の貸出しを受ける。 ②中央図書館の団体貸出しにより、定期的に図書の入替えを行うとともに、中央図書館からのリサイクル本などにより地域にあった蔵書の充実を図る。 ③学園都市文化ふれあい財団と連携し、地区図書室の地域にあったサービス提供などを検討していく。
37	地区図書室従事者のスキルアップ	企画事業のアドバイスや研修会・講習会を定期的継続的に実施する。	継続	図書館部	地区図書室職員向けに、「配架の方法」について研修会を実施。	ふれあい財団と相談のうえ、地区図書室従事者への研修会を実地する。
				協働推進課 ふれあい財団	①地区図書室の運営担当者を対象に、中央図書館との共催による「本の並べ方」についての研修を実施した。 ②地区図書室代表者会議を開催し、中央図書館との意見交換の場を設けた。	①中央図書館との共催による地区図書室運営担当者対象の研修を実施予定。 ②地区図書室代表者会議を開催し、中央図書館との意見交換の場を設ける。
38	地区図書室の図書館分室化の推進	より身近な場所で読書に親しめるために、環境や条件が整った地区図書室について図書館分室化を推進する。	継続	図書館部	由井市民センターみなみ野分館にあった地区図書室を分室化し、27年10月中央図書館みなみ野分室として開室した。	地区図書室の市民図書館化に向け、計画作成や関係団体等との調整を進める。
				協働推進課 ふれあい財団	中央図書館と調整・協議を行い、10月にみなみ野分館地区図書室の分室化を実施した。	中央図書館と地区図書室の図書館分室化に向けて調整・協議を行う。
39	大学図書館の利用機会の充実	公共図書館と市内大学図書館との連携を強化し、市民に大学図書館の利用情報等を提供する。また読書サービスを提供する場所の1つとして、市民の大学図書館利用の拡大・充実を図り、普段目にすることが少ない専門書に触れる機会を提供する。	拡充	図書館部	①連携強化の一環として、市域の大学14校に対し、八王子市の地域資料の寄贈を申し出たうえで「八王子コーナー」の設置を提案した。 ②内8校が寄贈の受け入れ依頼があり希望資料を送付し、全国から集まっている学生たちへ八王子の歴史・魅力をPRする一助とした。	①レファレンスサービスなどにおいて大学との連携を模索し、専門的なテーマについては大学図書館の利用が可能であることを積極的かつ具体的に伝えていく。これにより大学図書館の利便性を市民に周知する。 ②大学に照会をかけ、配布を希望する大学については、大学図書館の利用案内を市図書館内に配置し、市民への情報周知を図る。 ③市内大学図書館と市図書館との連絡会議設置に向けた検討を行う。

第3次読書のまち八王子推進計画 平成27年度別実績及び平成28年度実施計画

No.	計画内容		展開	所管部名	H27年度実績	H28年度実施計画
	具体的な取組み	取組み内容				
40	大学生等の受入	図書館が行う事業に、学生が企画立案から参加する仕組みと職業体験が出来る環境を整え、キャリア教育の一環となるよう大学生等を受け入れる。	拡充	図書館部	川口図書館1名、南大沢館で1名を大学生ボランティアとして受け入れた。	①学園都市文化課等と連携し、市内大学の学生による図書館イベントへの参加の方向性を検討していく。 ②図書館実習の申込みがあった場合には積極的に受け入れていく。 ③近隣の司書課程のある大学に働きかけ、市内図書館においてキャリア教育の一環となるよう大学生等を受け入れる。(インターンシップの受け入れ)
41	図書館からの多様な情報発信	八王子市に関連のある著名人のおすすめ本のリストなどを作成し、ホームページ等で紹介する。また、図書館の魅力や可能性をアピールする講座を開催する。	拡充	図書館部	①図書館ホームページにおすすめ本としてテーマリストや八王子が出てくる本のリストを掲載をした。 ②図書館まつりでワークショップや講演会を開催し図書館活動をPRをした。 ③図書館4館において、各々児童テーマ展示や男女共同参画週間や終戦記念日等、時節にあったテーマ展示を実施した。	①図書館ホームページにテーマ展示のリストを各館でも掲載していく。 ②八王子市関連のある著名人などを検討し本の紹介をしてもらう。 ③今年度も図書館まつりなどで図書館の魅力や可能性をPRする。 ④各図書館で特徴あるテーマ展示を定期的に行う。
42	市民の求めに応じた情報提供	生涯にわたって学ぶ市民が、身近な問題で疑問を感じた際に必要な情報を提供し、手助けする課題解決サービスの充実を図る。	拡充	図書館部	中央図書館において、「わがまち魅力再発見」「男女共同参画」「戦後70年」「減災・防災」など、時事、生涯学習等をテーマに、年間13本、述べ650冊のテーマ展示を行った。また、他の3館においても、児童書を中心に毎月テーマ展示を実施した。	中央図書館において、「若者向け・高齢者向けブックフェア」「人権週間」「文豪を読む」など、課題解決型テーマを中心に、年間15本のテーマ展示を実施予定。また、他の3館においても児童書を中心にテーマ展示を行う。
43	地域連携のサービス拡大	八王子市が広域連携を結んでいる自治体図書館の市民利用の促進を図るために利用情報の提供に努めると共に、八王子市民が連携市の市民と同等の条件で本の貸出や調べもの支援サービスを受けられるよう改善を図る。	継続	図書館部	京王線沿線7市連携会議において意見交換を行うと共に、八王子市民が各自治体市民と同一のサービスを受けられる様、各連携市市長宛に要望書を提出している。また、相模原市とも年1回の連絡会において意見交換を行った。	引き続き、連携各自治体に対し、連携市の市民と同等の条件でサービスを受けられるよう要請していく。
44	読書環境のPR	市民が利用できる公共図書館・地区図書室・大学等の図書館マップを新たに作成し、市の関連施設や企画事業等で配布し利用促進を図る。	新規	図書館部	未実施	市内大学図書館との連絡会議設置検討(No.39)に伴い、連絡会議で連携して図書館マップ作成を具体化していく。
45	利用しやすい図書館システムの導入	次期システム更新時に、市民が利用しやすい機能をもった図書館システムの導入を目指す。	拡充	図書館部	図書館システムの更新及び学校図書館システムの構築に向け、関連所管に働きかけ新システム検討会を発足した。	図書館システムの平成30年度の導入に向け学校図書館システムを含めた新システム検討会を継続的に開催し市民が利用しやすいシステムを検討していく。

第3次読書のまち八王子推進計画 平成27年度別実績及び平成28年度実施計画

No.	計画内容		展開	所管部名	H27年度実績	H28年度実施計画
	具体的な取組み	取組み内容				
46	電子情報の提供	図書館に来館しなくても図書の貸出が受けられる電子書籍の導入を目指す。また、市民から寄せられた調査・調べ物の結果をデータベース化しホームページ上に公開する。	新規	図書館部	①電子書籍の普及状況、コンテンツの種類や維持費などの情報を収集した。 ②市民の方から寄せられた調査(レファレンス)のうち、八王子に関するものなど大勢の方に見ていただきたい事例を選び、図書館のホームページ上で公開を行った。	①電子書籍を導入している図書館などを調査したり、取り扱いについて検討する。コンテンツの種類のうち必要とする資料の選定などを行い、導入に向けた費用の調査を行う。 ②ホームページに公開する事例を追加していく。また、デジタルアーカイブに関する情報を収集するなどして、デジタルアーカイブ化の検討を図っていく。
47	障害のある人や高齢者への支援	障害のある人や高齢者が利用しやすいようにサービス(対面朗読や手話のお話会など)の一覧をのせたページを図書館ホームページに作成する。また、高齢者施設への出張図書館サービスを本格実施するとともに、寝たきりの方が利用される宅配サービスを充実させ利用者の拡大を図る。	拡充	図書館部	①広報「はちおうじ」に障害者サービスについての詳細の掲載を行った。 ②障害者宅配サービスを4館で183回実施し、114名の障害者に857冊を貸出した。 ③視覚障害者用対面朗読を4館で13名の方に282回実施した。 ④高齢者施設への出張図書館を、平成22年3月から試行し、複数の施設で実施検証を継続した。 27年度実績では、3施設 11回訪問 貸出冊数 2,521冊	①ホームページに障害者・高齢者サービスの一覧を載せるための内容の検討を行っている。 ②「広報はちおうじ」に障害者サービスに関する記事を定期的に掲載することも検討していく。 ③出張図書館の本格実施に向け課題の整理を行う。
48	資料の充実	目の不自由な方への資料提供としてデイジー(DAISY)の充実を目指す。障害者や高齢者の方の読書環境充実のため、拡大字本や文字の大きさを自由に変えられる電子書籍の導入を目指す。図書館で所蔵するユニバーサルデザインに関連する資料については、ホームページに資料の一覧を掲載し周知する。	拡充	図書館部	①利用者の要望に応じて、デイジー・点訳本等の作成・貸出を随時行った。また、八王子関連図書(「大久保長安」、「八王子の女性史」など)のデイジー化を27年度より開始した。 ②高齢者や目の不自由な方に向け拡大字本の購入を定期的に行い、電子書籍導入に向けた検討を始めた。	①デイジーの充実を検討していく。ユニバーサルデザインに関連する資料の一覧の作成を行っている。 ②八王子関連の図書のデイジー化も充実を図っていく。 ③障害者や高齢者の方の読書環境を充実させるため拡大字本の収集を行う。電子書籍についても引き続き普及状況やコンテンツなどについて調査するとともに、具体的な導入方法について検討を進めていく。
49	多文化サービスの展開	日本語の読書が困難な外国人に、日本語以外で書かれた原書によるテーマ展示などを行うとともに、資料の一覧や多言語の利用案内をホームページに掲載する。また外国語(当面は英語のみ)の話せる職員を配置しサービスを展開する。	継続	図書館部	外国語(英語)の話せる職員・嘱託員が生涯館に在籍し、外国語資料のテーマ展示やHPにもリストを掲載し利用を促した。	外国語の図書館利用案内の改訂版を作成し、改訂内容のホームページへの掲載を行う。また、英語だけでなく中国や韓国の資料もテーマ展示としてPRできるよう検討する。

第3次読書のまち八王子推進計画 平成27年度別実績及び平成28年度実施計画

No.	計画内容		展開	所管部名	H27年度実績	H28年度実施計画
	具体的な取組み	取組み内容				
50	ボランティア団体や市民団体の育成	本の修理や講師派遣など、学校等から要望の多い項目について、図書館が学校とボランティア団体や市民団体との間に入り、必要とする市民団体を紹介するコーディネート役を果たす。また、ボランティア団体と市民団体の育成とスキルアップを支援する。	継続	図書館部	市立長房小学校から絵本作りの講習依頼があり、八王子手づくり絵本の会と連携をとり、講師を派遣した。また、H28開設予定の生涯学習センター講座に、市民が生涯学習として調査研究した成果発表として、八王子千人塾塾生の会の会員を講師として紹介した。	引き続き、学校等から講師派遣依頼等があった場合は、ボランティア団体、市民団体と連携を取り、派遣していく。
51	ボランティア団体活動への支援と市民協働	ボランティア団体を紹介するページをホームページに作成し、ボランティア活動を支援する。また、市民の目線からのテーマ展示や図書館事業における市民協働の充実を図る。	拡充	図書館部	市民が主体で実施している市民センター祭り（川口・南大沢）や生涯学習フェスティバル（クリエイトホール）に参加し、お話会や図書のリサイクルなどの読書を通じた市民協働を図った。	①ボランティア団体を紹介するページをホームページに作成し、ボランティア活動を支援する。 ②市民の目線からのテーマ展示や図書館事業における市民協働の充実を図る。
52	専門職のスキルアップ	図書館機能の1つであるレファレンスサービスを市民に周知し、市民から寄せられる課題に柔軟に対応できるよう、司書資格を有する職員のレファレンス力強化に向け、研修制度の整備と充実を図る。	継続	図書館部	文化庁・国立国会図書館・都立図書館など主催の司書専門研修に職員を派遣した。 ・文化庁：著作権実務研修 3名 ・国立国会図書館：レファレンス共同データベース研修 1名 ・都立図書館：レファレンス研修3回（東京情報・新聞雑誌情報・ビジネス情報）41名 ほか	図書館機能の1つであるレファレンスサービスを市民に周知し、市民から寄せられる課題に柔軟に対応できるよう、司書資格を有する職員のレファレンス力強化に向け、研修制度の整備と充実を図る。
53	蔵書の充実	市民の課題解決や、暮らしに役立つ資料を適切に提供する役割を担う図書館として、質の高い蔵書の充実を図り、長期的な蔵書の保存計画を作成する。	継続	図書館部	みなみ野分室の開室などに伴い、図書館全体で新たな資料約3万冊を購入し、寄贈資料約5千冊などと合わせ、市全体で蔵書数が162万5千冊（前年比約3千冊増）となった。また、各館が所蔵能力を超過し図書資料を保存している状況の中で、資料を精査し、副本の廃棄などにより、蔵書の整理と保存を図った。	市民の課題解決や、暮らしに役立つ資料を適切に提供する役割を担う図書館として、質の高い蔵書の充実を図る。また、各館の特色として、郷土資料は中央館、ビジネス関係は生涯館、児童書は南大沢館を中心に蔵書収集を行っていく。
54	施設・設備の改善	中央図書館地下展示室の活用方法を整理し、市民への有意義な図書館サービスの展開が可能となるよう検討を進める。また、館内表示が日本語表記のみのため、施設整備を行う際には外国語表記の案内版などを設置し、グローバル化を図る。	新規	図書館部	①地下展示室の活用方法は、現在検討中であり、27年度については現行どおり市民への貸し出しを行った。 ②生涯館の2階・3階の入口に英語表記の利用案内を掲示した。	①大規模改修の一環として、利用者用トイレの改修を行う予定。 ②図書館内の表記で外国語の見直しを行い、各館でも表記できるようにする。また英語以外の表記についても検討する。